

モニタリングサイト 1000 高山帯調査

植生データの概要と利用上の注意点

目 次

I. 利用上の注意点	2
II. データセットの概要	3
III. データの内容と説明	3
IV. 参考文献等	10

I. 利用上の注意点

- 本文書にはモニタリングサイト 1000 高山帯調査のうち、植生データ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの使用方法（<https://www.biodic.go.jp/copyright/index.html>）」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。
- モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト（<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>）をご参照ください。
- データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。
＜データ出典の明示例＞
「xxx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（〇〇〇〇.zip, <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>,よりダウンロード）。」
“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (〇〇〇〇.zip, downloaded from <https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html>)”.
- データについてのご質問は、本文書の最後に書かれている「お問合せ先」までご連絡ください。
- ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。
- データの体裁及び本文書は、予告なく変更される場合があります。

Ⅱ. データセットの概要

- ・調査サイトで選定されたプロットの植生調査の結果を示したデータです。
- ・3～5年間隔で、植物が生えそろった時期に実施しています。
- ・調査方法の詳細は、高山帯調査マニュアル 植生
(<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>)をご参照ください。
- ・データファイルは、調査プロット、調査年毎に分かれています。

Ⅲ. データの内容と説明

- ・ファイル名
モニタリングサイト 1000 高山帯調査のコード (mot·az) _サイト ID+調査プロット ID
+調査項目 (vegetation) _調査期間
- ・それぞれの Excel ファイルは、調査日や調査地点等を入力した「概要シート」と、調査結果を入力した「調査票」からなっています。
- ・公開することで乱獲等のおそれがあるデータについては、非公開となっています。また、データ取得者が研究論文の発表までは優先的に利用することを希望したデータについては、非公開期間を設定しています。

<植生データのファイル一覧>

サイト名	プロット名	ファイル名
1 大雪山	黒岳風衝地	mot-az_1a_vegetation_20110707 mot-az_1a_vegetation_20160731 mot-az_1a_vegetation_20210813
	黒岳石室	mot-az_1b_vegetation_20110809 ³⁾ mot-az_1b_vegetation_20160827 ²²⁾ mot-az_1b_vegetation_20210812
	赤岳コマクサ平	mot-az_1c_vegetation_20100709 ⁷⁾ mot-az_1c_vegetation_20150728 ^{6,8)} mot-az_1c_vegetation_20200814 ⁹⁾
	赤岳第4雪渓	mot-az_1d_vegetation_20100806 ¹⁶⁾ mot-az_1d_vegetation_20150819 ²⁰⁾ mot-az_1d_vegetation_20200813 ²⁰⁾
2 北アルプス (立山)	室堂平	mot-az_2a_vegetation_20120821 ¹¹⁾ mot-az_2a_vegetation_20170904-0905 ^{11,14)} mot-az_2a_vegetation_20220904-0905
	風衝地 ¹⁾	mot-az_2b_vegetation_20110802-0805 ^{4,10)} mot-az_2b_vegetation_20160722-0728 ¹⁰⁾ mot-az_2b_vegetation_20210729-0730
4 白山	千蛇ヶ池南方風衝地	mot-az_4b_vegetation_20120809 ¹⁷⁾ mot-az_4b_vegetation_20150812 mot-az_4b_vegetation_20200914
	水屋尻	mot-az_4c_vegetation_20110809 ²⁰⁾ mot-az_4c_vegetation_20140813 mot-az_4c_vegetation_20170903-0904 mot-az_4c_vegetation_20220929-0930
	南竜ヶ馬場	mot-az_4d_vegetation_20100811 ²⁰⁾ mot-az_4d_vegetation_20110810 ^{18,20)} mot-az_4d_vegetation_20130812-0813 ⁵⁾ mot-az_4d_vegetation_20160823-0825 mot-az_4d_vegetation_20210923-0924 ¹⁹⁾
5 南アルプス (北岳)	プロット B ²⁾	—
	プロット A ²⁾	—
	プロット C ²⁾	—

6 富士山	山頂付近 A	mot-az_6a_vegetation_20100901 ¹²⁾ mot-az_6a_vegetation_20150905 ¹²⁾ mot-az_6a_vegetation_20220803 ²¹⁾
	森林限界付近	mot-az_6b_vegetation_20110806 ¹⁵⁾ mot-az_6b_vegetation_20150911 mot-az_6b_vegetation_20200801
	山頂付近 C	mot-az_6c_vegetation_20110827 ¹²⁾ mot-az_6c_vegetation_20160825 ^{12,13)} mot-az_6c_vegetation_20220803
	山頂付近 D	mot-az_6d_vegetation_20110827 ¹²⁾ mot-az_6d_vegetation_20160825 ^{12,13)} mot-az_6d_vegetation_20220803
	山頂付近 E	mot-az_6e_vegetation_20120801-0802

- 1) 小数点第2位以下の位置情報と一部の種名が保護情報になっています。
- 2) 植生調査データが保護情報になっています。
- 3) 2017年にミヤマウシノケグサをコメススキに修正しました。
2023年にNo.1のE04とNo.2のA11のコエゾツガザクラのデータを11から1に修正しました。
2024年にNo.2の出現種数を13種から12種に修正しました。
- 4) ミヤマウシノケグサをコメススキに、ミヤマコウボウをイワスゲに誤同定した可能性があります。
2024年にNo.8のミメズオウをミネズオウに修正しました。
- 5) 2017年にイワイチョウの一部をイワカガミに、オオヒゲノガリヤス?、イネ科 sp.、オニノガリヤスをオオヒゲノガリヤスに修正しました。
2024年にNo.9の出現種数を7種から8種に修正しました。
- 6) 2024年にNo.1~3のコミヤマヌカボとミヤマウシノケグサの出現メッシュの一部を修正しました。(No.1、2のミヤマウシノケグサは、コミヤマヌカボが誤同定された可能性があったことから、確認した結果、No.1、2およびNo.3について修正となりました。)
- 7) 2022年にNo.2、3の双葉実生 sp.を双子葉実生に修正、備考に「出現種数は双子葉実生を含まない」を追記、出現種数をNo.2は13種から12種に、No.3は12種から11種に修正しました。
2024年にNo.1~3のコミヤマヌカボとミヤマウシノケグサの出現メッシュの一部を修正、No.3の出現種数を11種から12種に修正しました。
- 8) 2022年にNo.3、5の双葉実生 sp.を双子葉実生に修正、備考の「出現種数は双葉実生を含む」を「出現種数は双子葉実生を含まない」に修正、出現種数をNo.3は14種から13種に、No.5は13種から12種に修正しました。
- 9) 2022年にNo.4、8の備考に「出現種数は双子葉実生を含まない」を追記、出現種数をNo.4は15種から14種に、No.8は10種から9種に修正しました。
- 10) 2022年にヒロハノコメススキをヒナガリヤスに修正しました。
- 11) 2023年にクロウスゴをマルバウスゴに修正しました。

- 12) 2024 年にコタヌキランをイワノガリヤスに修正しました。
- 13) 2024 年にファイル名を修正しました。
- 14) 2024 年に No.8 の出現種数を 16 種から 15 種に修正しました。
- 15) 2024 年にウシノケグサをミヤマウシノケグサに修正しました。
- 16) 2024 年に No.2 の出現種数を 11 種から 10 種に修正しました。
- 17) 2024 年に No.10 の出現種数を 5 種から 6 種に修正しました。
- 18) 2024 年に No.9 の出現種数を 8 種から 7 種に修正しました。
- 19) 2024 年に No.2、3、4、6、7 の出現種数を修正しました。
- 20) 2024 年にヒロハコメススキをヒロハノコメススキに修正しました。
- 21) 2024 年 No.5 のミヤマスナゴケの J02 の値を 2 から 1 に修正しました。
- 22) 2024 年に No.5 と No.6 のリシリスゲの科名をリンドウ科からカヤツリグサ科に修正しました。

<概要シート>

調査項目：本データファイルの調査項目名

サイト名：本データが観測されたサイトの名称

プロット ID：本データが観測されたサイト内のプロットのシリアル ID（c は植生共通）

プロット名：本データが観測されたサイト内のプロットの名称

現地調査主体：本データの観測を行った調査主体の名称

調査代表者：現地調査主体の代表者氏名

現地調査日：現地で調査を行った日付

北緯（°）：本データの観測プロット位置の緯度情報

小数点第2位以下が、非公開になっている場合があります。

東経（°）：本データの観測プロット位置の経度情報

小数点第2位以下が、非公開になっている場合があります。

標高（m）：本データの観測プロット位置の標高情報

位置情報の取得方法：観測プロットの位置情報を取得した手段

データの保護の必要性：原データを保護する必要性の有無

非公開期間：原データを非公開とする期間

位置情報の保護の必要性：原データの位置情報の保護の必要性の有無

備考：その他特記事項

例：

項目	記入例
調査項目	植生調査
サイト名	○●岳
プロット ID	4Ac
プロット名	高山荘
現地調査主体	自然調査の会
調査代表者	山田太郎
現地調査日	2011/7/1、8/10、10/12
北緯（°）	36.564377
東経（°）	139.206396
標高（m）	2,450
位置情報の取得方法	GPS を使用
データの保護の必要性	必要性有り。乱獲の恐れのある●○ソウが見られる。
非公開期間	期限無し
位置情報の保護の必要性	必要性有り。乱獲の恐れのある●○ソウが見られる。
備考	●○ソウ、△▲ランに食害あり。等

<調査票>

コドラート No : 1 m × 1 m のサブコドラートの番号 (No 1 ~ No10)

調査日 : 植生調査を実施した月日

調査者 : コドラートごとの調査者名

出現種数 : コドラートごとに出現した植物の種類数

植被率 : 10cm × 10cm に区切られた 100 マスのうち、植物が生育しているマス数

岩石・砂礫率 : 10cm × 10cm に区切られた 100 マスのうち、岩石・砂礫があるマス数

蘚苔類 : 10cm × 10cm に区切られた 100 マスのうち、蘚苔類が生育しているマス数

地衣類 : 10cm × 10cm に区切られた 100 マスのうち、地衣類が生育しているマス数

科名 : コドラート内に出現した維管束植物の科名

species 種名 : コドラート内に出現した維管束植物の種名

※公開することで乱獲のおそれがある種類については、種名を sp.1、sp.2、sp.3 … の形で表記しています。

サブコドラート内のニホンジカ等痕跡記録

食痕有無 : 草食動物 (ニホンジカ等) の食痕の有無

糞粒数 : 糞粒の形状や周囲の状況から推測される動物名ごとの、糞粒または糞塊の数

備考 : コドラート周辺の痕跡やその他気がついたこと : 足跡などの痕跡や、調査地近くの山小屋の人から得た生息状況等

モニタリングサイト1000 高山帯調査 植生調査用 調査票		出現種数 8 種		岩石・砂礫率 75 %	
コドラートNo	調査者	種数	率	種数	率
1	佐藤 太郎	8	25%	75	0 %
調査日	2012/7/7	備考		蘚苔類	0 %
				地衣類	3 %

species		A										B										C										D										E									
科名	種名	A01	A02	A03	A04	A05	A06	A07	A08	A09	A10	B01	B02	B03	B04	B05	B06	B07	B08	B09	B10	C01	C02	C03	C04	C05	C06	C07	C08	C09	C10	D01	D02	D03	D04	D05	D06	D07	D08	D09	D10	E01	E02	E03	E04	E05	E06	E07	E08		
オミナエシ	タカネオミナエシ																																																		
バラ	メアカンキンバイ																																																		
ツツジ	チシマツツジ	1	1									1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1					1	1	1	1							1	1	1							
ゴマハハグサ	イワブクロ																																																		
カヤツリグサ	タイセツイワスゲ																																																		
バラ	メアカンキンバイ																																																		
ツツジ	チシマツツジ																																																		
マツ	ハイマツ																																																		
ツツジ	エゾツツジ																																																		
イネ	ミヤマウシノケグサ																																																		
ツツジ	クロマメノキ																																																		
セリ	シラネニンジン																																																		
ヒダカソウ	ヒダカソウ																																																		

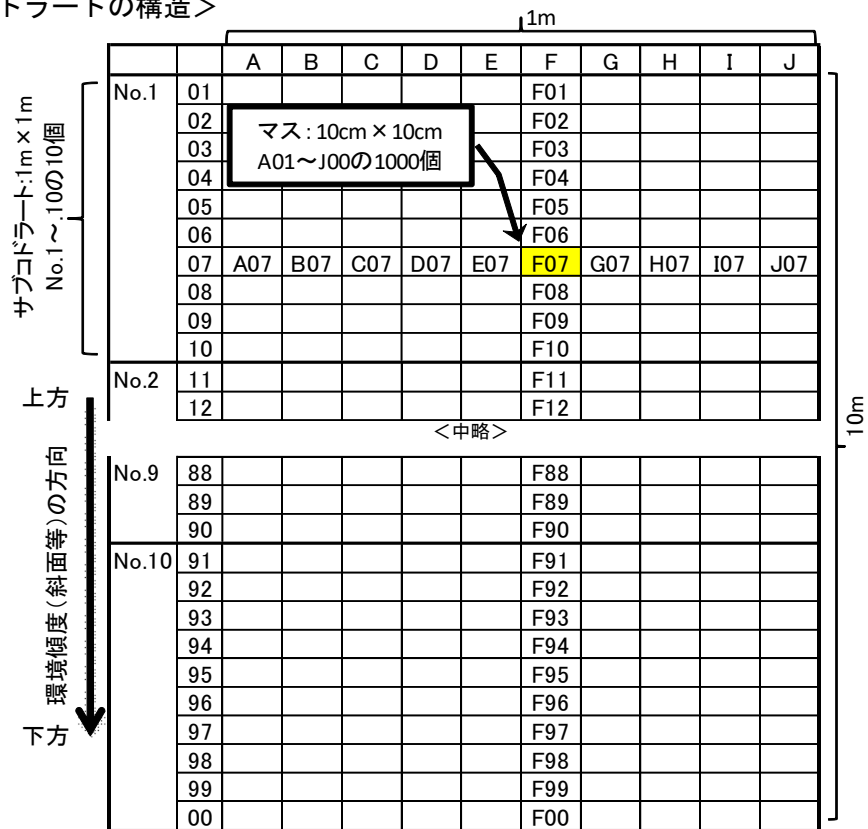
・種名を置き換え。

<保護情報の処理例>

イワウメ	イワウメ					
マツ	ハイマツ					
ツツジ	エゾツツジ					
イネ	ミヤマウシノケグサ					
ツツジ	クロマメノキ					
セリ	シラネニンジン					
ヒ	sp.1					

サブコドラート内のニホンジカ等痕跡記録		備考: コドラート周辺の痕跡やその他気がついたことなど	
食痕有無	「有: 1」、「無: 0」を記入		
糞粒数	シカ	個	
	カモシカ(糞塊数)	塊	
	ウサギ	個	
		個	

<コドラートの構造>



IV. 参考文献等

モニタリングサイト1000 高山帯調査マニュアル

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html>

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

<https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html>

作成 2024 年 9 月

お問合せ先（2024 年 9 月現在）

一般財団法人自然環境研究センター
モニタリングサイト 1000 高山帯担当者
〒130-8606
東京都墨田区江東橋 3-3-7
Tel: 03-6659-6310 Fax: 03-6659-6320

環境省自然環境局生物多様性センター
担当：保全科
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel: 0555-72-6033
E-mail: biodic_webmaster@env.go.jp